

太陽光発電設備の 住宅設置に関するセミナー

主催：鳥取県 共催：とっとり健康・省エネ住宅推進協議会

[日 時] ▶ 7月27日(水) ~ R5年 2月28日(火)

[会 場] ▶ E-Learning (録画配信)※期間中はいつでも受講いただけます。

[参加費] ▶ 3,000円 (定員:50名) **建築士CPD認定 2単位**

●講師：高橋 慎吾 氏(高橋建築株式会社 代表取締役)

●プロフィール

パッシブハウスジャパン理事。埼玉県秩父で工務店業を営み、初期よりパッシブハウス・ジャパン賛助会員として活躍。秩父パッシブハウス以降、たくさんのパッシブハウスを建設。関東でのパッシブハウス施工の第一人者のひとり。



内容

- ・今、なぜ太陽光発電が必要なのか
- ・太陽光発電設備のメリット・デメリット
- ・配置計画
- ・設計・施工上の留意点
- ・住まい手への説明
- ・自家消費のポイント
- ・その他の関連技術
- ・コスト



お問合せ とっとり健康・省エネ住宅推進協議会

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳2360-8 株式会社ミヨシ産業内
電話:0859-34-9861 E-mail:ne-st@miyoshi-san.co.jp

※お申し込みは裏面のQRコードからお進みください。

※後日、録画配信を検討しています。
(4/21のWEB配信はありません。)

申込方法

お申し込みは以下のアドレスまたはQRコードから行ってください。
受付システムは **Peatix** となります。
画面の説明に従って操作をお願いします。

●申込URL

<https://ne-st2022solarpower.peatix.com/>



注意事項

- ・WEB決済となりますので、原則として領収書の発行はありません。
- ・原則、受講料の返金はいたしませんので予めご了承ください。

NE-ST関連情報

●とっとり健康省エネ住宅の認定について

ZEHや長期優良住宅、性能評価など住宅性能評価機関が外皮性能を証明した書類を添付する場合には外皮計算書及び面積表等の資料を省略することとしました。(※配置図、平面図等は添付が必要です。)

●とっとり健康省エネ住宅『NE-ST』×ZEHに対する助成について

県産材を10m³ 以上または内外装材で20m² 以上使用し、太陽光発電等によりゼロエネルギー化されたとっとり健康省エネ住宅『NE-ST』を新築される方に補助する新たな制度を創設しました。

●とっとり健康省エネ住宅『NE-ST』の補助対象範囲の拡充について

令和4年5月補正予算により、新築時に太陽光発電設備の設置が難しい住宅であっても、将来的な太陽光発電設備の設置に備えた住宅であれば補助の対象とする見直しを行いました。

とっとり健康省エネ住宅の基準を満たし、以下の事項に配慮した設計であることが条件となります。

- 太陽光発電パネルの設置に伴う積載荷重を考慮していること。
- 太陽光発電に配慮した屋根形状としていること。

性能区分	補助金額	参考:太陽光あり
T-G1	10万円	60万円
T-G2	30万円	80万円
T-G3	50万円	100万円

※「参考:太陽光あり」の場合は、国の補助金との併用はできません。

Re NE-ST関連情報

●施主に対する助成について

全面改修『Re NE-ST』をはじめ、居間や浴室・トイレ等を限定して改修する「ゾーン改修」、窓や天井など部分的に改修する「部分改修」にも助成があります。(令和4年7月1日から助成開始)

●事業者に対する助成について

とっとり健康省エネ住宅改修『Re NE-ST』の実績を有する事業者を県が認定します。認定事業者には1事業者あたり20万円を助成します。(1事業者1回限り)

▶ 詳細は、県庁公式ホームページ「とりネット」で御確認ください。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/ne-st/>
電話0857-26-7398

とっとり健康省エネ

検索